

## 水稻奨励（認定）品種「いなほっこり（仮称）」の特性

### 研究のねらい

近年、本県平坦地域の水稲作では、気候変動に伴い登熟期間の高温による外観品質の低下が問題となっています。現在の奨励品種では、高温登熟性に優れる品種がないため、麦あと二毛作地帯に適する熟期で高温登熟性に優れる品種の選定を行いました。

### 技術の特徴

- 1 「いなほっこり（仮称）」は、「朝の光」の代替えとして平成29年度に奨励（認定）品種に採用した水稻新品種です（写真1）。
- 2 対象品種である「朝の光」との比較



写真1 草姿の比較

- (1) 高温登熟時の外観品質が優れます（写真2）。



写真2 高温登熟時の外観品質（平成28年5月10日植）

注1) 外観品質の数字は、1（良質）～9（不良）を示します。

注2) 気温は、出穂期～20日間の日平均気温の平均気温です。前橋地方气象台データを使用。

- (2) 食味官能評価は全作期で優れる良食味米です（図1）。
- (3) 収量性は同程度～やや多収です。
- (4) イネ縞葉枯病に抵抗性があります。

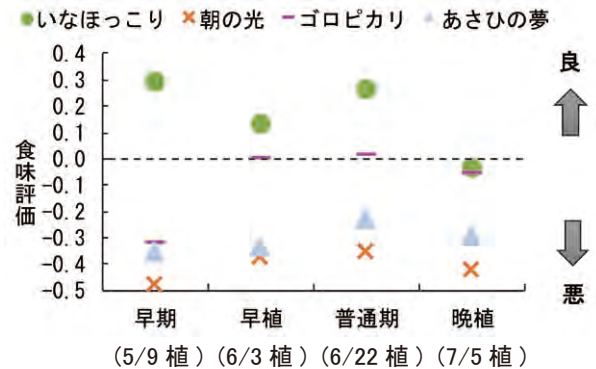


図1 食味試験成績

### 3 栽培上の留意点

- (1) やや長粒であることや、籾数過多による外観品質の低下が懸念されるため、施肥量は「朝の光」程度を上限とし、多肥栽培は避けてください。
- (2) 登熟期間が低温で日照が少ない場合は、籾の着粒がやや密であるため「朝の光」よりも成熟期がやや遅れる傾向にあります。

### 4 その他

- (1) 作付対象地域は県内平坦地とし、生産者による一般栽培は平成31年度からの予定です。
- (2) 県では、平成30年度に県内各地で展示栽培を実施しています。

### 今後の取り組み

「いなほっこり」に適した施肥方法や収穫適期などを明らかにしていきます。

（執筆者：小川 三菜美）